

社会貢献活動

「食・健康・運動」をキーワードに、人々の健康を支える活動や適正な寄付活動などを通じて、市民社会・地域社会に対して「ニチレイらしい」社会貢献活動に取り組んでいます。

運動・スポーツを通じた支援

2005年スペシャルオリンピックス 冬季世界大会への協賛

2005年2月26日から3月5日にかけて、スペシャルオリンピックス冬季世界大会が行われ、全世界から約2,700人の選手が長野の地に集まりました。

ニチレイグループは、運営資金の協賛のほか、当グループの福利厚生施設である志賀高原ロッジを選手の宿舎としてご利用いただいたほか、大会会場へのオドントグロッサム(蘭)の提供や選手団向けの食材割引販売などを行いました。

(財)日本水泳連盟が認定する 泳力検定制度を応援 「ニチレイチャレンジ Swimming Badge Test」

ニチレイグループは、2004年11月より、(財)日本水泳連盟が認定する泳力検定制度を応援しています。「食」と「スポーツ」を通じて皆様の健康的な生活を支援していきたいという思いから、この泳力検定制度を応援することとしました。

この活動を通じて、泳力検定制度の多くを占める子供たちとご家族に向けて、当社商品や活動をお伝えしていきたいと考えています。



泳力検定制度の様子

寄付活動

インドネシア・スマトラ島沖地震への 被災者救援・復興支援

2004年12月26日、インドネシア・スマトラ沖で発生した大地震・津波は、インド洋沿岸諸国の多くの人々が犠牲となる大惨事となりました。

ニチレイグループは、加工食品事業、水産・畜産事業などにおいて関係の深い同地域の被災者救援・復興支援のため、日本ユニセフ協会を通じて、1,000万円の義援金を寄付しました。この義援金は、日本ユニセフ協会の「スマトラ沖地震・津波緊急募金」において活用され、子供と女性を主な対象として、健康の確保、教育環境の整備・復興といった分野において使用されます。



日本ユニセフ協会からの感謝状の授与

新潟県中越地震被災者への 義援物資の提供

2004年10月23日に発生した新潟県中越地震で被災された方々へ義援物資として、当社の常温食品・アセロラ飲料を、新潟県災害対策本部を通じて長岡市に提供しました。

ニチレイふれあい基金

当基金は、1992年に設立され、従業員の賛同金と会社の寄付を基に、社会福祉活動の支援や自然保護・環境保全・文化芸術活動への援助などを行っています。

2004年度は、従来の寄付活動に加え、新潟中越地震の被災地に対しても義援金を提供しました。また、とくにスマトラ島沖

地震災害に対しては、2,400名余の賛同者と会社より、212万円をNPO法人「ジャパンプラットフォーム」に寄付しました。

公益信託経団連 自然保護基金への協力

ニチレイグループは、アジア太平洋地域を主とする開発途上地域における自然保護活動を支援する当基金に賛同し、1994年から寄付を続けています。

地域社会への貢献

小学生対象の料理教室への協力 (食育支援)

三鷹市在住の栄養士会の方が、地域活動の一環として毎年開催している「夏のこども料理教室」に協賛しています。

2004年7月に開催された教室には、小学校1~6年生までの24人が参加し、「3つの基礎商品群について」という講義に続き、当社提供の食材を使って、「ミックスペジタブルのドライカレー ターメリックライス添え」や「ポテトとミニトマトのオープン焼き」など全4品について、子供たちが調理を行いました。参加した子供たちからは、「楽しかった」「また参加したい」との声が寄せられました。



調理の様子

中学生職場体験の受け入れ

ニチレイグループでは、地域貢献の一環として、中学生の職場体験の受け入れを実施しています。本社では、味覚解析グループ、ニチレイコーナー、スコレ雪ヶ谷研修センターで合計9名の生徒の皆さんが実際の仕事を体験しました。